

地域密着型金融推進計画（平成26年度実績）

27年 6月 4日

淡陽信用組合

1. 平成17年4月から27年3月までの地域密着型金融推進計画については、ほぼ計画どおり進めることが出来ました。
引き続きこれらの施策を着実に実行しつつ、中小零細事業者と個人に対する円滑な資金供給や経営相談・支援機能、情報提供機能などの付加価値の高いサービスを提供するとともに、地域金融に対して十分な役割と機能を果たせる金融機関をめざします。

2. 地域密着型金融推進計画（平成26年度）

推 進 項 目	取組み方針・目標及び個別の具体的取組策 (担当部会)	推 進 ス ケ ジ ュ ー ル & 結 果	
		平 成 2 6 年 度 通 期 計 画	平 成 2 6 年 度 通 期 実 績
中小企業の経営支援をはじめとした積極的な金融仲介機能の発揮			
(1) 成長可能性を重視した新規融資の取組の促進	<p>①新規融資の期待できる業種・分野を分析し、「貸出目標達成計画」の中で基本戦略・方針を明記し新規融資に積極的に取り組む。</p> <p>②日常継続的な訪問により収集した情報に基づき新規需要を見込める先を「貸出実行計画表」にてリストアップする。</p> <p>③ABL等による融資を積極的に取り組む。</p> <p>・医療・介護に対する新規融資（目標 20 先） ・エネルギー分野に対する新規融資(目標 30 先) ・農業・漁業に対する新規融資(6次産業等目標 10 先)</p>	<p>・長期事業計画に基づく営業店への貸出増加目標の示達</p> <p>・営業店での「貸出目標達成計画」の作成</p> <p>・営業店での「貸出実行計画表」の作成</p> <p>・「取引推進表」・「貸出金実績・計画報告書」による進捗状況の管理（営業店・本部）</p> <p>・業務推進部の臨店による営業店への推進態勢の指導及び進捗状況の検証の実施。</p>	<p>・26年度上・下期に分けて、長期事業計画に基づき店別に目標を示達。</p> <p>・「貸出目標達成計画」を店別に作成し基本戦略・方針を明確にしました。</p> <p>・半期ごとに「貸出実行計画表」を作成し新規需要を見込める先をリストアップして新規融資に取り組みました。</p> <p>・業務推進部の臨店により推進態勢の指導および「取引推進表」・「貸出金実績・計画報告書」の進捗管理を行いました。</p> <p>・医療介護に対する新規貸し出し実績（4先 59百万円）</p> <p>・エネルギー分野に対する貸出金（4先 1,123百万円）</p> <p>・6次産業化への貸出金（2先 16百万円）</p>
(2) 地域密着型金融の深化 ①顧客のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮 イ. 創業・新規事業支援	<p>・地域経済活性化の為、新規開業、新分野への進出支援を公的助成制度の紹介等により積極的に取り組む。(目標 37 先)</p>	<p>・商工会、地域活性化センター等への定期的な訪問を実施し情報収集を行い、助成金・補助金等を把握し、創業・新規事業融資に積極的に取り組む。</p> <p>・保証協会保証の「創業関連保証」を積極的に推進する。</p>	<p>・創業・新規事業融資に積極的に取り組んだ結果 63 先 847 百万円の貸出をおこないました。</p> <p>・「創業関連保証」を積極的に推進した結果 18 先 69 百万円の貸出を行いました。</p>

	<p>ロ. 成長段階における更なる支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業拡大の為の資金需要に対する信用供与（目標 20 先） ・ビジネスマッチングによる、新たな販路の獲得等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地公体、商工会議所、業界団体等からの情報収集により事業拡大支援を積極的に行う。 ・しんくみネットの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業拡大支援に積極的に取り組んだ結果 90 先 2,805 百万円の貸し出しを行いました。 ・しんくみネットの登録者は「地域ネットワーク加盟店」が 12 先、「しんくみネットCOM事業者」が 7 先となりました。
	<p>ハ. 経営改善支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大口貸出先、問題債権先、融資部指定先、ランクアップ対象先を抽出し融資部コンサル担当者が営業店へ臨店、依頼があれば顧客企業へ訪問し経営改善支援を行う。 ・事業再生、改善が見込まれる先には貸出条件変更等を実施、償還能力向上が見込まれる場合は新規の信用供与も積極的に行う。 ・認定支援機関等との連携による事業再生計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・大口貸出先 30 先、融資部指定先 30 先、ランクアップ対象先 40 先を抽出しランクアップを図る。 ・中小企業診断士資格取得職員等による顧客企業先への支援態勢の強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ランクアップを推進した結果、主債務者で 25 先（債務者先数 38 先）のランクアップが図れました。 ・コンサルティング担当者（中小企業診断士資格取得者）により主要融資先 59 先を選定し信用格付・SWOT分析により、企業を分析し、その結果を営業店と共有し経営支援に取り組みました。 認定支援機関との連携による経営改善支援実績は下記通りとなっています。 中小企業再生支援協議会(7 先) 顧問税理士との連携(2 先) 保証協会による経営サポート会議(4 先)
	<p>ニ. 事業承継支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相続対策支援を積極的に行う。 ・承継予定者と経営課題等について積極的に相談指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客企業を日常的、継続的に訪問し、承継者へ相談、指導を積極的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継に伴う貸出金の実行は 2 先となりました。
	<p>ホ. 人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング機能を発揮する為、内部研修、外部講師による研修を実施し人材育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実務研修 44 回 職能別に 5 ランクにわけ研修を実施し、職員の能力向上を図る。 ・外部講師による研修 4 回 	<ul style="list-style-type: none"> ・実務研修の実施（39 回） ・外部講師による研修（2 回） ・外部融資セミナー等への参加（14 回）
	<p>②.地域経済の活性化への貢献 イ.地方公共団体との連携支援 ロ.商工会との連携支援 ハ.各種団体との連携支援 (漁業者・水産加工業者・青果業者等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地公体、商工会、各種団体へ定期的に訪問、情報収集し、各団体と連携し経営支援を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水産加工業者・そうめん業者・海苔加工業者への定期的な訪問により円滑な資金供与を実施する ・ひょうご6次産業化ファンドへ出資しており、6次産業への融資を積極的に推進する。 ・「ひょうごふるさと応援・成長支援事業」へ兵庫県と連携協力し、地域に根ざしたオンリーワン企業の新規事業展開及び事業拡大を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産業先への定期的な訪問による積極的な推進により資金供与先は下記通りとなっています。 ・水産加工業者(25 先 235 百万円) ・そうめん業者(12 先 75 百万円) ・青果業者 (21 先 261 百万円)

	<p>③地域や利用者に対する積極的な情報発信の実施。 イ.ホームページによる情報発信 ロ.淡陽ニュースによる情報発信 ハ.ディスクロージャー誌による情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等により当組合の地域密着型金融の具体的実施状況、成果等を積極的に情報発信する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公表 地域貢献について 貸付条件変更等の実施状況 ・淡陽ニュースは年4回発行 ・ディスクロージャー誌発行 (26年7月)
	<p>(3) 中小企業に対する経営改善支援等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(2) -ハ(経営改善支援)に準じて取り組む。 ・兵庫県中小企業団体「しっかいや」(外部専門家)による取引先の経営改善支援の実施。 ・中小企業再生支援協議会との連携。 ・認定支援機関である顧問税理士との連携。 ・バンクミーティング等他金融機関との連携。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(2) -ハ(経営改善支援)に準じる。 ・「しっかいや」による毎月2先の顧客指導の実施。 ・中小企業再生支援協議会への事前相談の持ち込み。 ・顧問税理士と連携した経営改善計画の策定(経営改善支援センターの活用) ・バンクミーティングへの積極的参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しっかいや」中央会による顧客指導 通期26社・個別指導1社 ・中小企業再生協議会、顧問税理士等の連携は前述(2)-ハのとおりとなっています。

推 進 項 目	取組み方針・目標及び個別の具体的取組策 (担当部会)	推 進 ス ケ ジ ュ ー ル & 結 果	
		平 成 2 6 年 度 通 期 計 画	平 成 2 6 年 度 通 期 実 績
2. 地域の利用者の利便性向上	(利便性向上部会)		
(1) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・「近い」「早い」「親切」をモットーに夢あるくらしのパートナーとして努力するとの当信用組合の理念を取り組み方針とする。 ・顧客からの相談・要望・情報に対し、より質の高いサービスを提供、利用者の利便性の向上を図り経営基盤の拡充を図る。 ・「ご相談窓口(営業店)」「お客様相談室(本部)」の連携を図り、本支店一体となってサービス提供に取り組む。 ・経営情報の提供として「デイリー経済情報」「年金世代の健康と暮らしの情報」「いきいきライフを応援する情報」の活用と「講演会」を開催する。 ・しんくみ生活総合センターの「ビジネスマッチング」「中小企業向け経営診断」等「しんくみネット」を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1～9回の利用者満足度アンケート調査の結果を踏まえ適宜改善を図る。 ・第10回利用者満足度アンケート調査検討・実施。 ・利用者の声の把握・検証。 ・「経済講演会」「中小企業支援セミナー・相談会」「CS・マナー研修会」実施。 ・視覚障害者に対応した店舗整備 ・顧客からの相談に適切に対応でき又、コンサルタント能力の発揮できる人材育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年2月9日～20日にかけて第10回利用者満足度アンケートを実施し結果をホームページにて公表 ・9月19日に中小企業会計啓発・普及セミナーを開催。
(2) 地域貢献に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に対して情報提供の充実を図り、より理解し易い情報開示と公表に取り組む。 ・地域に密着した信用組合の特性を発揮し地域社会の発展に貢献している内容等を情報開示し地域の理解を得ていく。 ・地域の中小零細事業者や生活者に対して円滑な資金供給と金融サービスを提供していくと共に地域サービスの充実や文化的、社会的貢献活動も含めた地域貢献活動について広報紙、ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌、ホームページ等を通して充実した分かりやすい情報開示に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙(淡陽ニュース)発行。 ・ディスクロージャー誌の内容を見直し発行。 ・「献血運動」の実施。 ・「ピーターパンカード寄付金」贈呈。 ・地域貢献活動、情報開示について検証、見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌(淡陽ニュース)4回発行 ・ディスクロージャー誌の発行(26年7月30日) ・「献血運動」の実施(26年7月～9月しんくみの日週間他) ・「ピーターパンカード寄付金」贈呈(26年9月5日 五色精光園) ・ミニディスクロージャー誌発行(26年11月27日) ・第10回利用者満足度アンケート結果をホームページに公表(27年3月25日)